

住民説明会① 長島中校区

日時：令和6年1月25日（木） 19時開始

場所：長島町役場指江支所2階大ホール

参加者：58人

質疑

・P33～34事業スケジュールの初年度はどこにおいているのか。

答 基本計画が策定され、実施計画が策定されたあとが初年度。

早くても来年以降になる見込み

・長島高校跡地の解体費用が6億円と試算されている。

県に解体をお願いできないのか。

答 町長、教育長揃って、県庁に土地の無償譲渡、解体の実施を要望した。

後日県知事名で「用地の無償譲渡は可能だが、解体費用を県で支出する考えはない」と回答が届いた。

・スピード感のある町長にしては、学校統合再編についてスピードが遅いがどう感じているのか。

答 平成26年度、長島高校跡地に1校案を議会に上程したが予想以上の大差

で否決だった。この結果を受けてスピードを落さらず得なかった。

今回はスピード感をもって実施したい。

・統廃合を急いでいる理由があるのか。

答 鷹巣小学校、城川内小学校が危険校舎のため、この2校の解消を急がなければいけない。

しかし危険校舎ではなくとも、本町は少子化や校舎の老朽化も問題となっているため総合的に考えた方がいいのではないかとこのところでの中学校再編の判断。

・今の説明を聞くと、危険校舎である鷹巣小と城川内小の建て替えを避けるための中学校統合と解釈したがこの理解でよいか。

答 最重要課題は、児童がいる校舎が危険校舎であるということ。

長島町立小学校改築プロジェクトの中でこの問題を解決するにあたり、2つの学校の大規模改修だけでいいのか、また大規模改修をしたが将来校舎はあるのに児童がいなくなる場合も想定されるため、鷹巣小、城川内小だけではなく、中学校も併せて考えなければいけない等議論があった。

決して危険校舎の建て替えを避けるためのものではない。

・今回の説明会は、教育委員会の案を1つにまとめるための会なのか。

答 中学校統合再編について今は基本計画の策定をしている段階。この計画の中で1番のネックとなっているのが場所の選定である。

場所については、基本構想で鷹巣中学校、川床中学校、長島中学校、旧長島高校跡地の4校が候補地となった。さらに住宅センターが審査をして、鷹巣中学校、旧長島高校跡地の2つが最終候補地となった経緯がある。

この説明会は、今決まっていることを住民に報告し、意見をもらうために開催している。意見をもらったのちに総合教育会議、教育委員会で議論したなかで出た結論をもって再度住民説明会を行う予定。

・鷹巣中学校の全面改修とはどのくらいの規模なのか。

答 イニシャルコストについて、現在想定しているのは外壁工事、屋上防水、一部内部の劣化箇所の改修が必要となる。

また、昨今文科省から避難所に指定されている学校は、バリアフリートイレを整備するよう指針があったことから、その工事も必要となる。

ここで想定しているのは、県内の工事实績単価を参考に行っている。実際は、設計する中で詳細な調査を行う。

実際はここまでの費用は掛からないと考えるが、最大想定範囲で単価15万円として算出した。

ランニングコストについて、外壁改修については、建物を長く持たせるための改修。しかし40年後のため、内部も一部改修が必要となった時はその都度改修していかなければならない。

- ・鷹巣中学校と長島高校跡地以外の場所も候補に入れてみてはどうか。

答 4つの地区の3中学校と長島高校跡地を審査してもらい、今2校まで絞られている。これから第3の場所となるとまた場所選びに戻りスピードが遅くなる。

また、町有地以外は用地交渉も必要となり、時間がかかる。

- ・町の公共施設の総事業費はいくらか。

答 総合グラウンド約29億円、診療所約10億円、東分遣所約5億円と広報で公表している。